

ココロやカラダにお悩み・不安のある方の長期就労を応援する情報誌『イコウ』

イコウ IKOU!

2023年 夏号



第3回イコウ!春の写真コンテストスマートフォン部門 審査委員長賞受賞作品「すずめ」(作:こころさん <アドマーニ久喜>)

【巻頭特集】

＜訪問記録＞日本の障がい者就労の“はじまり”を訪ねて

三菱商事(株)特例子会社

三菱商事太陽(株)／社会福祉法人太陽の家

就労支援の「人」

プロレスリング・ヒートアップ(株) 代表取締役社長 田村和宏氏

いこう!就労移行支援事業所へ

湧水の癒しが心と身体を満たす場所ーアポーヨ柿田川

第3回イコウ!春の写真コンテスト結果発表



一般社団法人社会福祉支援研究機構

<訪問記録>

日本の障がい者就労の
“はじまり”を訪ねて

訪問先

三菱商事特例子会社※

三菱商事太陽株式会社

社会福祉法人太陽の家

※企業が障がい者の雇用を促進する目的でつくる子会社のこと。

日本を代表する総合商社である三菱商事株式会社（以下、三菱商事）。同社の特例子会社である三菱商事太陽株式会社（以下、三菱商事太陽）は、現在では一

般的な就業形態として定着しているテレワーク（在宅就労）に約20年前から取り組んでいたりと、パソコン黎明期に早く障がいのある人がこれを使用して健常者と同等の業務内容を実施したりと、現在に至るまで障がい者雇用における先進的な取り組みを続けています。同社は1983年に設立されましたが、三菱商事と共に設立に関わったのが社会福祉法人太陽の家（以下、太陽の家）です。なお、この太陽の家を創設したのが日本のパラスポーツの父と呼ばれる医師、故中村裕博士でした。今回は、大分県別府市にある三菱商事太陽と太陽の家にお伺いし、そこでお話しいただいた内容についてご紹介いたします。

パラスポーツと障がい者就労の父、
中村裕博士と太陽の家

三菱商事太陽 福井社長

当社の話をさせていただく前に、ぜひ中村裕博士と太陽の家についてご紹介をさせていただきます。こ

でお話させていただく内容は、当社に脈々と受け継がれている、障がい者雇用に対する考え方に通じるものです。

●障がい者スポーツとの出会い

国立別府病院の整形外科科長であった中村博士は、リハビリテーションの研究のためイギリスのストーク・マンデビル病院に留学しました。そこではスポーツを医療の中に取り入れており、多くの脊髄損傷患者が治療・訓練を受け、社会復帰をしていました。これに中村博士は驚き、この手法を日本で実践しようと思案しました。

しかし「治療は安静が中心」という当時の日本では、反対意見も多くありました。そのような中、中村博士は関係者を熱心に説得し、結果、1961年10月に「第一回大分県身体障害者体育大会」を全国で初めて開催することになったのです。



故中村裕（なかむら ゆたか）博士
太陽の家創立、企業との共同出資会社
設立、障がい者の社会復帰やスポーツ
振興に取り組んだ。1984年没。

三菱商事について

- ▶所在地（本店）：〒100-8086 東京都千代田区丸の内二丁目3番1号 三菱商事ビルディング
〒100-8086 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング
- ▶創業：1954年7月1日 ▶資本金：204,446,667,326円
- ▶子会社（2022年12月31日現在）：1,717社 ▶関連会社：427社
- ▶従業員数（2022年3月31日現在）：単体5,571名／連結（子会社含む）80,728名

<https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/>



三菱商事太陽 福井社長

チャレンジ精神こそ培ってきた企業文化



三菱商事太陽
代表取締役社長
福井秀樹氏

●オリンピックへの道のり
1962年7月のストック・マンデビル競技大会に中村博士は2名の選手とともに参加しました（旅費の一部に、中村博士は自分の愛車を売ってそれに充てたということです）。この大会に日本からの参加があったということは世界中に報道され、日本のパラスポーツへの認識を深めることになりました。

そして、これまでの中村博士の努力が実を結び、国際身体障害者スポーツ大会準備委員会において第2回パラリンピックの東京開催が決定。1964年の東京オリンピックの一カ月後、21カ国378名が参加して東京パラリンピックが開催され、中村博士は日本選手団長に選ばれました。日本の成績は金メダル1、銀メダル5、銅メダル4、と全体では13番目という成績であり、大会も無事終わりました。

●太陽の家の設立
日本のパラスポーツをこの上ない形で発展に導いた中村博士ですが、複雑な思いを抱いていました。パラリンピックの外国選手は試合後も食事や買い物に出かけたりと行動的で明るく過ごしていたのですが、対照的に日本選手は宿舎に戻って過ごしていました。この違いは、個人の経済力にありました。外国選手のほとんどが仕事を持っていました。日本選手は多くは仕事を持っておらず、自宅か療養所で世話を受けていたのです。ここで中村博士は「障がいがある人のための働く場」が必要であると考え、翌1965年に誕生したのが太陽の家でした。

「太陽の家の社員は庇護者ではなく労働者であり、後援者は投資者である」「税金を消費する立場から納税者の立場にもってゆく」等の理念を掲げた太陽の家ですが、当初はどうしても仕事が少なく、中村博士は「大きな企業と提携しなくてはならない」と考え、200社以上の企業を訪問し、協力関係の模索をしていきます。

●そして三菱商事太陽の設立へ
まずはじめに中村博士の理念と取組みに共感したのが立石電機（現オムロン）であり、1972年に太陽の家と協同で日本初の福祉工場、オムロン太陽電機を設立しました。同社は初年度より黒字を記録し、これを起点として、1978年にはソニー・太陽、1981年にはホンダ太陽が設立され、1983年に三菱商事太陽が設立されました。

三菱商事太陽の成り立ちと現在

三菱商事太陽 福井社長へ
●そこにあつた先進性

当社設立前より、三菱商事は中村博士の理念に共感し、支援をしてきました。中村博士は1978年当時から「これからの時代はコンピュータが重要なものとなり、プログラミングの仕事であれば、身体に障がいがあっても仕事ができるし、在宅でも仕事ができる」と考えており、これに三菱商事も共鳴、三菱商事が太陽の家にコンピュータを寄贈して障がいのある人がプログラムの勉強をして社会に出ていく訓練を実施しました。

そして、そこで訓練を積んだ10名が当社の初期メンバーとなったのです。なお、そのうちの3名は現在も在籍しております。また、初期メンバーであった山下達夫氏は、現在太陽の家の理事長を務めています。

三菱商事太陽 工藤常務へ

●業務内容について

現在の当社の業務は大きく①システム開発、②ネットワーク構築、③業務アウトソーシングに分けることができます。障がい種別によって業務が分かれるといったことはなく、一人ひとり適性に合わせて業務を担当してもらっています。①ではコンサルティングからシステムマネジメントまで、お客様にとって最適なソリューションを提供しており、②では万全なセキュリティ対策と最適なソリューションをもつて、お客様のネットワーク環境を構築しています。また、③ではデータ入力や名刺、挨拶状などの印刷、社員証や入館証の作成などを行っています。

当社では障がいのある社員も多く管理職に就いており、キャリアアップについても明確になっているので、モチベーション高く職務に従事していると思います。結果的に、退職率も少なくなっています。

三菱商事太陽 渡邊副部長へ

●健康管理について

社員の健康管理体制としては、精神保健福祉士4名が常駐しているワークサポートチームを設置しています。ここではちょっとした悩みからキャリア相談まで、様々な相談を受けつけています。チームでは「担当制」をとっていますので、社員の方との信頼関係もうまく構築できていると思います。もちろん、障がいのある社員のみならず、障がいのない社員も相談に来ます。



三菱商事太陽
営業・製造担当常務取締役
工藤泰孝氏



三菱商事太陽
常務取締役 総務・人事部長
佐藤隆信氏



三菱商事太陽
総務・人事部 副部長
渡邊雅子氏

三菱商事太陽の風景

太陽の家 山下理事長

「感動される人」から「感謝される人」になりなさい

車いすの社員も無理なく通行できるように、広々とレイアウトされたオフィス。



複合機には、操作パネルの上部にミラーが付いており、パネルを直接見なくても操作が可能。

資料等が閲覧し易いように、文字を拡大できる機器がPCに備え付けられています。



天井には球状の鏡があり、移動の際に互いを視認し、衝突等が起らないようにしています。

また、私たちサポートをするメンバーは、外部との連携を心がけていて、社内だけでは解決できないことをすぐに相談できるようにしています。その一環として、他社の就労支援の担当者と合同での情報交換会等も実施しています。

〈三菱商事太陽 佐藤常務〉

●地域との関わり

当社は地域に開かれた会社を目指しており、例えば私が講演活動等を行ったり、大学のゼミに参加したりしています。また、地元で開催している大分車いすマラソンでは、大会に参加する海外選手に名刺をプレゼントしています。この車いすマラソンには私も選手として参加をしています。加えて会社見学にも対応しており、最近では年間で約2500名の方にお越しいただきました。地域の方に施設を開放したりもしています。

ユニバーサルな街、別府

〈福井社長〉

●障がいのある人も普通の暮らしを当社や太陽の家のあるこの周辺には、障がいのある人の暮らしを

考えた施設があります。金融機関としては大分銀行太陽の家支店があり、こちらには車いすの方に配慮したカウンターがあります。また、暮らしに不可欠なスーパーマーケットもあり、ここでは車いす利用者のためにレジ台や売場の棚など低く作られています。なお、こちらは日本で初めて車いすのユーザーがレジで働くスーパーとしても知られています。

当社周辺のみならず、別府の街全体が障がいのある人に配慮をした「福祉の街」という特色があります。その大きな要因となったのが、中村博士の「障がいのある人はもともと街に出かけていきなさい」という考えだと思えます。

〈太陽の家 山下理事長〉

社会から求められる存在に



太陽の家 理事長
元三菱商事太陽 代表取締役社長
山下達夫氏

中村博士の勧めもあり、当社や太陽の家の関係者は積極的に別府の街に出ていきました。結果、別府ではバリアフリーが進み、車いすで利用できる場所やその他障がいに対応した施設や設備が多くあります。例えば駅の券売機や横断歩道の押しボタン等も、低い位置にあったりしています。

●多くの人からの感謝を得るために私は元々、太陽の家の訓練生としてこちらに来ました。中村博士の「手足に障がいがあっても頭脳労働はできる」という考えのもと、訓練に励んだのです。この太陽の家や別府の街では障がいのある人が普通に働き、普通に暮らしています。「普通」ということは当たり前かもしれませんが、ここまで前かもしれません。ここまでやるのには50年位かかりました。ようやく時代が変わってきたのかもしれない。私は、障がいのある人は社会に求められるべく、努力をしていかなければならないと思います。そしてそれを体現しているのが太陽の家の皆さんです。

太陽の家の理念

No Charity, but a Chance!

社会福祉法人太陽の家

- ▶ 所在地：〒874-0011 大分県別府市大字内竈（うちかまど）1393 番 2
- ▶ 創設：1965 年 10 月 5 日
- ▶ 事業概要：施設入所支援 / 就労移行支援 / 就労継続支援 A 型 / 就労継続支援 B 型 / 就労定着支援 / その他、障がい者支援施設運営等

太陽ミュージアムについて

- ▶ 所在地：〒874-0011 大分県別府市大字内竈 1393 番 2（太陽の家の同敷地内）
- ▶ 開館：2020 年 7 月 4 日
- ▶ 展示内容：中村裕博士に関する資料展示 / 障がいのある人の暮らしや仕事をサポートする道具の体験 / パラスポーツ体験 等

<http://www.taiyonoie.or.jp/>



太陽の家の理念が学べる「太陽ミュージアム」



太陽ミュージアムは三菱商事太陽と太陽の家に挟まれた場所にあります。

太陽の家の足跡が学べると共に、パラスポーツの体験ができます。



先の東京パラリンピックの聖火リレートーチ（実物）を展示。

車いすマラソンや車いすバスケットで使用する車いす等を試乗できます。



別府・亀川の共生街づくり (写真出典：三菱商事太陽 HP)



三菱商事太陽がある亀川駅の券売機。タッチパネルが低い位置に。



障がいのある方が利用し易いように配慮されたスーパーマーケットサンストアは太陽の家が運営。

横断歩道の押しボタンや自動販売機の硬貨投入口などにユニバーサルデザインが採用されている街角の風景。



〈渡邊副部長〉
● 凛としたビジネスパーソン
先日、発達障がいのある学生の方がインターンシップに来られました。その方は、当社を見学して「障がい者雇用のイメージが変わった」と言われていました。「社員の皆さまがとても格好よく、ビ

太陽ミュージアムには多くの方が訪れ、皆さまから「感動しました」と言っていただけです。しかし私は、太陽の家の利用者には「感動される人から感謝される人になりなさい」と言っています。しっかり仕事をして、感謝をされる。ぜひ、三菱商事太陽の皆さまには、仕事を通して多くの人に感謝されたいと思います。



取材では、三菱商事太陽の皆さまにお話をお聞かせいただいた後、太陽の家にお伺いしました。



三菱商事太陽の皆さまには快くご対応いただきました。取材後は、太陽ミュージアムもご案内いただきました。

● チャレンジングな企業文化
当社では障害のある人もない人も全く関係なく、キャリアアビリティを持って職務にあたっています。例えばIT開発のような職務内容ですが、社員は果敢にこれに取り組んでくれています。このチャレンジング精神こそ、本年度設立40周年を迎える当社が培ってきた企業文化であると思います。

◆ 福井社長
ビジネスパーソンとして働いていたこと。当社社員に求められていることは決して平易なものではありませんが、一人ひとりが「私が三菱商事を支えている」というプライドを持って、職務に励んでいただいていると思います。

～誰もが普通に暮らせる社会の実現のために～

Challengers Forever with Smile!!

三菱商事太陽株式会社

▶ 所在地：(別府本社)〒874-0011 大分県別府市内竈 1399 番 1

(東京事務所)〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-2-3 丸の内仲通りビル 9 階

▶ 設立：1983 年 12 月 1 日 ▶ 資本金：1,000 万円 ▶ 株主構成：三菱商事株式会社 (67%) / 社会福祉法人太陽の家 (33%)

▶ 事業内容：システム開発 / ネットワーク構築・運用 / 名刺作成・データ入力

▶ 従業員数 (2023 年 4 月 1 日現在)：115 名・うち障がい者 74 名※(在宅勤務者 16 名) ※身体 44 名 / 知的 1 名 / 精神 29 名





いこう! 就労移行支援事業所へ!



爽やかな空気感のアポーヨ柿田川。フロアからは富士山を見ることが出来る。

柿田川公園では富士山の雪解け水が絶え間なく湧き出ている。



今回取材に応じてくれたアポーヨ柿田川の池上施設長。

<今回お伺いした事業所>



湧水の癒しが心と身体を満たす場所

全国の就労移行支援事業所では、利用者の心身の健康維持と就労に向けた技能取得、安定した生活リズムの確保など、多様なニーズに応えるサービスを展開しているが、そこには事業所ごとの特色や魅力がある。本コーナーでは実際に事業所に訪問し、見て、聞いて、触れて、感じたことをレポートする。

清らかな湧水の街、柿田川

国指定天然記念物に指定されている清流「柿田川」。このエリアは富士山からの雪解け水が地上に湧き出る湧水群があることで知られている。そんな柿田川に隣接しているのがアポーヨ柿田川だ。当事業所は、ほど近い富士市にあるアポーヨ富士（2017年開設）に次いで2021年に開設された姉妹事業所だ。アポーヨ柿田川の施設長であると共にアポーヨの創設者でもある池上文英さんはこう話す。

「私はアポーヨ開所まで30年間呉服屋をやっています。第2の人生として妹2人と事業所を開所しました。これまで様々な商売を経験してきましたが、支援という形で人の役に立てることにやりがいを感じたのです」

手作りの味が午後の活力に

三姉妹から始まった富士・柿田川の両事業所では支援員の9割が女性であり、女性ならではのふんわりとした愛情と温もりを感じる事ができる。

「昼食の時には毎日手作りのお味噌汁を出しています。利用者さんの中には手作りの味にあまり接していない方もいて、お味噌汁でちょっとした愛情を示してあげたいと思っています」



柿田川公園では至るところで湧水を汲むことができる



利用者さんがお誕生日の時は、スタッフがメッセージカードをお渡ししたり。アポーヨに通っている期間にたっぷり癒されて、それを糧に社会で活躍してくれたら嬉しいですね」（池上施設長）

癒しが身体に染み渡る名物ワーク

アポーヨ柿田川には湧水の街ならではの名物ワークがある。それは「清流散策&湧水汲み」だ。清々しい空気と清らかな柿田川の流れる名所「柿田川公園」が事業所のすぐそばにあり、そこを散策し、汲み放題の青く透き通った湧水を持って帰ってくるのだ。ウォーキングと森林浴を同時に楽しめるリフレッシュワーク。キーンと冷えた天然水は飲み水や昼食時の味噌汁に使用される。当然、大人気イベントだ。

さらに、アポーヨではお腹が満たされるイベントもある。月に一度のグルメイベントでは、みんなが食べたいものを外食したり、出前をとったりする。このイベントにはアポーヨの卒業生の方々も参加するという。

スキルアップとリラクセスができる日々

アポーヨでは訓練内容も充実しており、中でも利用者さんにとってスキルアップが実感できて就職にも直結するのが資格取得だ。

「無料で取得できる資格が75種類程度あり、見学に来られた多く方が『え、

事業所お問合せ先情報

●アポーヨ柿田川

静岡県駿東郡清水町玉川 152-2

TEL: 055-983-6500

(月曜から土曜 9時~18時)

●アポーヨ富士

静岡県富士市本市場町 828-4F

TEL: 0545-65-6821

(月曜から土曜 9時~18時)

<https://www.apoyo.co.jp/>



アポーヨ富士のフロアからも、素晴らしい富士山が眼前に広がる。



この資格もタダで取れるの?」と驚かれます。一緒に来られたお母さまが「私も資格取得のために通いたい」なんて言われることもあり、(笑) (サービスマネージャー 正木華織さん)

訓練の効果を十分に発揮するために、はリラクスタタイムも必要。アポーヨではグループワークも活発であり、特に春夏秋冬、季節ごとに開催される「短歌・川柳に挑戦」が人気だ。

「誰かの力を借りるってとても大切だと思えます。一人で悩まず、一緒に考えてくれる人を探すのです。ぜひ、私たちを頼ってきてください」(同)

取材終盤、ちょうど利用者さんたちが帰宅する時間となった。そこで聞こえてきた「気を付けて帰ってね〜!」という支援員の明るく元気な声。ここは温かく、優しい場所なんだとあらためて実感したワンシーンだった。

わたしたち！就労移行支援事業所です！

毎号ピックアップして、全国の社会福祉支援研究機構加盟の事業所をご紹介します。

思い描く未来に向かって毎日と一緒に歩いていきましょう。

シャローム和光（埼玉県）



埼玉県和光市丸山台 1-10-6
志幸 21 ビル 7F

◆TEL 050-6865-6816

◆E-MAIL wako@shalom-jp.org

<https://www.shalom-jp.org>

これが事業所の名物ワーク！

シャロームカフェ

この日はシャロームがカフェに変身します。おいしいコーヒーを飲みながら自然な形でコミュニケーションの練習をしていただけます。



PC 教室

障がいのある方へのメッセージ

シャローム和光のスタッフはお一人お一人に寄り添い、悩みも楽しいことも辛いことも共有し全力でその方の人生を応援しております。自分の得意なことを一緒に見つけ自信のある自分づくりを目指していただきたいと思います。

安心して過ごせるアットホームな事業所

アルファ王子（東京都）



東京都北区岸町 1-2-11
東亜ビル 2F

◆TEL 03-5948-4270

◆E-MAIL info-oji@alpha-bright.co.jp

<https://alpha-bright.jp/>

これが事業所の名物ワーク！

調理プログラム&調理イベント！

自立に向けて料理の練習もできて、グループワークもできる大人気のプログラムです！



リフレッシュプログラム

障がいのある方へのメッセージ

就労移行支援に辿り着くまで、様々な気持ちを感じたと思います。不安、恐怖、焦りなど… 1人で沢山戦ってこれたのでしょう。これからは、誰かの力を借りながら少しずつでも確実に進んでみませんか？アルファ王子では、一人一人にあった目標とペースで就職を目指すことができます。あなたは1人ではありません。私達と一緒に考え、最善の道を探していきましょう。

人生を変えるきっかけづくりをお手伝いします！

にじ練馬（東京都）



東京都練馬区豊玉上 2-8-5
第二矢幸マンション 1F

◆TEL 03-6914-8780

◆E-MAIL nerima@ni-ji.net

<http://ni-ji.net/>

これが事業所の名物ワーク！

演劇<表現力を磨くプログラム>



演劇プログラム

障がいのある方へのメッセージ

障がいでも苦しんでいる方や、その家族の力になる事が出来る場所にいる我々が、一人でも多くの方に支援が届くよう働きかける事が、我々の目標でもあり課題でもあります。社会生活に適用する能力を引き出し、定着した就労が出来る状態にすることを目的とし、ひとりの人生を変えるきっかけづくりに尽力する事が我々の使命だと考えます。

ほっとできる もっとできる

ジョブステーション神戸長田（兵庫県）



兵庫県神戸市長田区腕塚町
5-5-1 アスタくにごが 1 番館
北棟地下 1F 001-1

◆TEL 078-798-5420

◆E-MAIL kiseki.job.nagata@k-e-g.co.jp

<https://www.jobstation-kanto.com/>

これが事業所の名物ワーク！

体力向上プログラム

日頃の運動不足を一気に解消！心も体もリフレッシュ！！終わった後は晴れやかな表情がいっぱいです。



プログラム風景


障がいのある方へのメッセージ

「ほっとできるもっとできる」のコンセプト通り利用者さん達が談笑されている空間は優しく温かい空気に包まれています。安心できる空間で、ひとつひとつできることを増やして自分に自信を持ち、目標を達成しましょう。楽しいスタッフが、皆様をお待ちしています(^^)

第3回イコウ!春の写真コンテスト結果発表

Ikou! Photo Contest

イコウ<2023年春号>にてご案内した「第3回イコウ!春の写真コンテスト」にたくさんのご応募ありがとうございました。
ここでは、読者の皆さまの作品の中から<スマートフォン部門><デジタルカメラ部門>に分けて2作品ずつ表彰します。

<主催>  一般社団法人社会福祉支援研究機構

スマートフォン部門



審査委員長賞 『すずめ』



こころさん
(アドマーニ久喜 / 埼玉県)

表彰の言葉

桜が満開の川のほとり。空の表情も最高のタイミングで美しい桜との饗宴が撮影できています。それだけだと平凡だったかもしれません。そこに弾丸犬ならぬ弾丸スズメが絶妙なタイミングで写されています。一眼レフでも狙って撮れるようなものではなく偶然という写真ならではの瞬間性が重なり非常に見応えのある作品となりました。スマートフォンでも撮れる時代になったのかと驚きと発見がありました。



審査委員長賞 『空に向かって一直線』



照りマヨさん (ジョブステーション神戸長田 / 兵庫県)

表彰の言葉

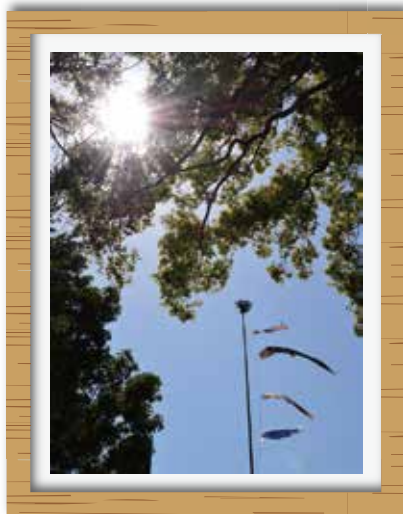
突き抜けるような青空と、その果てしない高さが上手く表現されています。縦長の写真サイズを有効活用して素晴らしいです。青空の色も、クリアで見えて爽やかです。

審査委員長 写真家 熊切大輔氏

東京生まれ。東京工芸大を卒業後、日刊ゲンダイ写真部を経てフリーランスの写真家として独立。ドキュメンタリー・ポートレート・食・舞台など「人」が生み出す瞬間・空間・物を対象に撮影する。スナップで街と人を切り撮った写真集「刹那 東京で」を2018年に発売と共に写真展を開催。2021年には写真集&写真展「東京美人景」そして「東京動物園」の三部作で東京の今を撮り続けている。日本大学芸術学部写真学科、御茶ノ水美術専門学校では講師を務める。公益社団法人日本写真家協会会長。



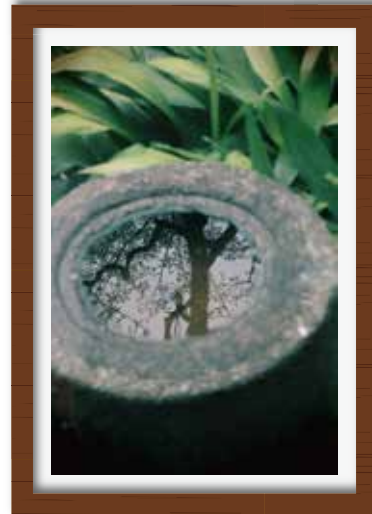
デジタルカメラ部門



JUNKOさん
(ラファイオ熊谷/埼玉県)



社会福祉支援研究機構 理事長賞
『希望に向かって泳ぐ鯉』



Mーさん
(テイクハート金町/東京都)



審査委員長賞『止まる時間』

表彰の言葉

木々から漏れる太陽の光を希望に見立てて。素晴らしいコンセプト。見ていて感動を覚えました。鯉のぼりたちに動きが感じられるのも、とても良いです。太陽の光の神々しさも、カメラはしっかり捉えていますね。

※各受賞者には、各受賞作品に表彰の言葉を添えて、額に入れて進呈いたします。

表彰の言葉

シンプルな表現ゆえに問われるのは構図のバランスです。水の張った丸い器だけを撮っていたら物足りないものになったでしょう。色のない被写体に少し緑の葉を写し込むことによって彩りの美しさを付加しています。くわえて石器の丸い縁をすべて入れず、裁ち落とすことによって器が主役ではなくあくまでも水面の美しい写り込みが主役であることを強調できています。静かな空気感を見事に表現した作品です。

D. Kuroda

手書きで！ データで！ 『イコウ!第3回イラストコンテスト』のご案内

どなたでも参加できます。お好きなテイストのイラストを描いてみてください！

主催：SSO 一般社団法人社会福祉支援研究機構

❖テーマ

あなたの好きなもの・描きたいものであればどのようなものでもOK！

❖募集部門

- ①手書き部門 (テイスト自由・スキャンデータにて提出)
- ②データ部門 (JPGもしくはPDFデータにて提出 ※使用ソフトは自由)

❖賞および賞品

- 審査委員長賞 (各部門1名)
 - 社会福祉支援研究機構 理事長賞 (各部門1名)
- ※各受賞者には、各受賞作品に表彰の言葉を添えて、額に入れて進呈いたします。

❖募集期間

2023年6月1日(木)～2023年8月19日(土)

❖応募方法

作品に作品名と氏名(ペンネーム可)を添えて、ご利用の就労移行支援事業所(社会福祉支援研究機構加盟)にご提出ください。

❖結果発表

本誌イコウ次号<2023年秋>の誌面にて受賞者を発表いたします。

<事前講習イベントのご案内>

※色鉛筆・鉛筆・ボールペンをご準備ください

繋がっているよ！笑顔になるよ！

審査委員長・飯名京美先生による
「誰でも描けるイラスト講座」

2023年7月17日(月・祝)13:00～13:50

実施方法：ZOOM(ウェビナー使用)

講師：飯名京美先生(日本画、水墨画家)

→このようなイラストを描きます



↑飯名先生

就労支援の人

障がい者の就労においては、様々な立場から関わる支援者の存在が欠かせません。ここでは、支援者の方々に「人となり」や「経歴」、「モットー」などを自由に語っていただきます。

プロレスリング・ヒートアップ株式会社 代表取締役社長

田村和宏氏 Kazuhiro Tamura

プロレスリング・ヒートアップ



オフィシャルブログ: <http://ameblo.jp/heatuppw/>

Facebook: <https://www.facebook.com/heatuppw/>

Twitter: @heatuppw



Profile

2013年プロレスリング HEAT-UPを旗揚げ。翌年には藤波辰爾、田中稔とのシングルマッチを皮切りに、地元川崎をプロレスで熱くの信念で新百合ヶ丘でのプロレス初開催、2016年には21年ぶりにとどろきアリーナでのプロレス興行を実現させた。社長兼レスラーとして、ヒートアップ道場の設立と選手育成で2023年にはHEAT-UP旗揚げ10周年、自身としてはデビュー20周年を迎える。

団体の立ち上げまで

私は神奈川県川崎市出身、スポーツでいえば小学生の頃は野球を、中学・高校生の時はハンドボールをしていました。高校卒業後は短大に進学し、情報処理を学んで卒業後はプログラマーになりました。

プロレスの道に入ったのは23歳の時です。プロレスは子どもの頃から好きで、プロレスラーになりたい、と思った時期もあったのです。その後はプロレスをしながら家業のガラス店で働いたり、現在では世界展開もしている某ストレッツチエーの創業に参加したりしました。そしてそのような中、プロレス団体「HEAT-UP(ヒートアップ)」を立ち上げたのです。

障がい者雇用の取組み

ヒートアップでは「プロレスで社会貢献」を理念に、障がい者施設への支援活動を行っています。これにはきっかけがあります。私の姉には障がいがあり、ある作業所で働いているのですが、そのお給料がどうしても安く、それならば私がプロレスで何とかできないかと考え、障がい者雇用を取組もうと思ったのです。仕事内容はチケット切りやリング設営、コロナ禍中では消毒などがありました。

プロレスを通して社会貢献ができれば

また、私たちを応援してくれている企業や団体のチラシを大会パンフレットに挟み込むといった内容もあります。働いていただいた後は、もちろんプロレスを観戦してもらおうことができます。元気に働いて、楽しくプロレスを観て。みんなで明るい空間が作れたらと思っています。

プロレス式フィットネスの講師として

私は現在、社会福祉支援研究機構に加盟している就労移行支援事業所の利用者さんが参加するオンラインでの「プロレス式フィットネス」の講師も担当していますが、皆さんには運動を通して心も体も元気になっていただきたいですね。トレーニングを通して、運動習慣をつけてもらえたら嬉しいです。参加する機会のある方は、ぜひ一緒にトレーニングをしましょう。

福祉と食に関する取組み

障がい者雇用の他、「EAT-UP(イートアップ)」という福祉と食に関する取組みも行っています。こちらでは障がい者福祉施設で作られているポップコーンなどをヒート

アップとコラボレーションをして販売しています。コーヒーや梅干し、ヴィーガンラーメンなどもあります。私たちが施設に商品の生産を依頼することで、皆さまのお仕事が増えれば、と考えています。

また、イートアップで販売しているポップコーンを就労移行支援事業所をはじめとした障がい者福祉施設に寄付したりもしています。これは地元である川崎のみならず、ヒートアップの名古屋大会の時には名古屋の施設に、山口大会の時には山口の施設にといったように地元以外との関わりにもつながっています。

プロレスのイメージアップも図りたい

今年の7月、ベトナムで日本の国交に関するイベントがあり、そこで私たちがプロレスをすることになっています。その視察で先日、都市ダナンに行き、障がい者施設にも訪問してきました。今後ベトナムでも、私たちのプロレスを通して、何か社会貢献がしたいと考えています。また、社会活動を通してプロレス業界全体イメージをより明るく、活気のある、素晴らしいものとして定着させていければと考えています。



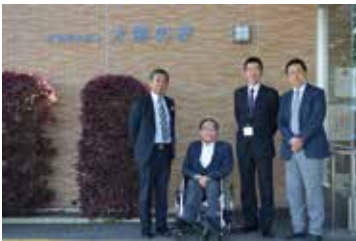


最新の取り組みのご報告

「太陽の家」表敬訪問

山下理事長と面談

山下理事長と三菱商事太陽の福井社長と太陽の家の前にて。



の家の山下達夫理事長と面談をしました。面談では山下理事長より中村博士の教えを紹介いただいたり、ユニバーサルデザインの進んだ別府の街についてご説明いただきました。

5月11日、今号の特集でも紹介しました障がい者就労と日本のバラスポーツの父、中村裕博士が設立した太陽の家に当機構佐野理事長と両角専務理事が表敬訪問を行い、太陽



精悍な面持ちの中村博士の立像。

「スマホでも楽しめる写真ポイント講座」開催

「繋がってるよ!笑顔になろうよ!」第45弾



4月7日、(公社)日本写真家協会理事熊切大輔先生に講座を行っていただきました。ZOOMでの開催により、全国の就労移行支援事業所だけでなく、在宅訓練の利用者さんとも繋がりました。

「自宅で出来る簡単筋トレ講座」開催

「繋がってるよ!笑顔になろうよ!」第46弾



5月3日、「体スッキリ体操!!～正しいラジオ体操と自宅で出来る簡単筋トレ～」を宮崎紳先生に実施いただきました。ゴールデンウィーク中でしたが、多くの利用者さんに参加いただきました。

近日の開所情報 2023年6月1日現在 82事業所

—2023年4月開所—

◆ルミノーズ川崎宮前平◆ ◆シャローム西川口駅前◆



神奈川県川崎市宮前区宮前平
1-10-6 エコービル 202
<https://www.luminoso-kawasaki.org/>
TEL :044-750-7734



埼玉県川口市並木 2-1-7
フォーパーツ並木 302
<https://shalom-jp.org/>
TEL :048-229-4937

—2023年4月開所—

◆フィット鹿児島中央◆ ◆グッドライフパートナー福島駅前◆



鹿児島県鹿児島市西田1-4-12
下釜ビル 2F
<https://fit2022.or.jp/>
TEL :099-272-9777



福島県福島市置賜町 1-29
佐平ビル 9F 901A 号室
<https://good-life-partner.com/>
TEL :024-563-5119

一般社団法人 社会福祉支援研究機構 加盟就労移行支援事業所

今後も日本各地で開所・加盟が予定されています。



<p>【京都】 ラ・レコルト伏見</p> <p>【大阪府】 エール近鉄八尾 サンク藤井寺 ソース堺東 ソース三国ヶ丘 Nagu 豊中 ぶらす住道 ぶらす守口 ラ・レコルト茨木 ラ・レコルト枚方 LIIMO 阿波座 LIIMO 大正 LIIMO 南森町 リセル新大阪 リセル布施</p> <p>【福岡県】 ティオ新栄町 ティオ大牟田築町 フィン大橋 フィン大橋北 フィン藤崎 フィン香椎駅前</p> <p>【宮崎県】 グッドライフパートナー延岡 グッドライフパートナー宮崎</p> <p>【鹿児島県】 フィット鹿児島中央</p>	<p>【埼玉県】 ア・ドマーニ春日部 ア・ドマーニ久喜</p> <p>【千葉県】 シャローム浦和 シャローム所沢 シャローム和光 チャオ上尾 ラフィオ熊谷 シャローム西川口駅前</p> <p>【兵庫県】 Nagu 川西 ジョブステーション神戸長田</p>	<p>【北海道】 ティオ中央区役所前 ティオ札幌駅前</p> <p>【福島県】 アフレッシュいわき グッドライフパートナー福島駅前</p> <p>【栃木県】 アスミル大田原</p> <p>【群馬県】 ファシリカ高崎駅前 ラフィオ太田</p>	<p>【東京都】 アルファ王子 アルファ日暮里駅前 ジョブステーション大井町 ジョブステーション高田馬場 チャレンジ板橋区役所前 ティオ神保町 ティオ西葛西 ティオ船堀 ティオ森下 テイクハート青戸 テイクハート金町 にじ中野坂上 にじ練馬 フォーム竹ノ塚 LIIMO 調布 LIIMO 国分寺 ルミノーズ町田 ルミノーズ町田シバヒロ前</p> <p>【千葉県】 ティクハート我孫子 ティクハート鎌ヶ谷 ティクハート成田 バレット稲毛海岸 バレット市原市役所前</p>
<p>【神奈川県】 にじ鶴見 バスセンター大船 バスセンター大岡プラザ</p> <p>【愛知県】 バレット大曽根 バレット西尾 バレット名古屋伏見</p> <p>【山梨県】 コリド甲府</p> <p>【和歌山県】 ジョブステーション和歌山</p> <p>【香川県】 ラ・レコルト高松瓦町</p>	<p>【茨城県】 ティクハート土浦 アフレッシュ水戸</p> <p>【静岡県】 アボーヨ柿田川 アボーヨ富士</p>		

❖題字の作者



1981年山口県岩国市生まれ。18歳の時イギリスに短期留学。路上アーティストに感銘を受け「どこかで誰かの力になりたい」と思い、OLのかたわら活動を続け25歳で出版を機に独立。その後、東京に拠点を移し、ニッポン放送出演やラジオパーソナリティーなどを務め、気持ち伝わる筆ペン講座や講演活動を行い、活動の場を広げている。2011年より全国1万人折り句キャラバン〜10代のみんなと折り句でありがとうを伝えよう〜をスタート。

MIKAKO ポエムピクチャーアーティスト / 折り句作家

❖誌名『イコウ』について

本誌名『イコウ』には、就労移行支援事業所の「移行」やポジティブかつアクティブな「行こう!」というフレーズからのイメージに加え、読者の皆さまがほっと一息つくことのできる「憩う」タイミングで読んで欲しいという想いが込められています。ぜひ、末永くご愛読いただければ幸いです。



機構加盟の就労移行支援事業所の利用者さんの作品を募集しています

『イコウ』では、皆さまからの次のような作品を募集しています。

写真（スマートフォンでの撮影可） / イラスト（手書き・グラフィックデータ問わず） / 川柳 / 俳句 / 短歌 など

ご応募いただいた作品は、本誌表紙や誌面上でご紹介いたします。

※ご応募作品数によっては、掲載できない場合もございます。作品はイコウ編集部のメールアドレスまで「データ形式で」お送りください。
※作品には作者名（ペンネーム可）を添えてご応募ください。就労移行支援事業所による利用者作品の一括応募も可です。

❖イコウ-IKOU!- 編集部のご案内❖

❖社会福祉支援研究所株式会社内イコウ編集部 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-4-21 サンパーク高田馬場109❖
発行人：佐野敏夫 / 副発行人：両角康史 / 編集長：大槻一敬 / 副編集長：古澤和也
TEL：050-5437-2755 / E-MAIL：hensyuubu@social-so.net

社会福祉支援研究機構の目指す 「就労移行支援」

① 一人でも多くの“一般就労”を実現

② 最適、最短の長期の“一般就労”を実現

③ “一般就労”実現の輪を全国に

就職実績累計

令和5年3月31日時点

2,972名就職

資格合格実績累計

令和4年6月30日時点

8,517名合格

目指せる資格は70種類以上

<目指せる資格一例>

- ❖P検(ICTプロフェンシー検定協会)❖ ❖ビジネス法務基礎★
- ❖ビジネスプレゼンテーション基礎★ ❖メンタルヘルス基礎★
- ❖パーソナルキャリアリスト検定 ❖ビジネス実務マナー3級❖
- ❖秘書検定❖ ❖サービス接遇検定❖
- ❖ビジネス文書検定❖ ❖ビジネス実務法務検定試験
- ❖色彩検定3級❖ ❖コミュニケーションリーダー2級★
- ❖ピアカウンセラー★ ❖コミュニケーション基礎★
- ❖高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)
- ❖ナラティブメディエーター講座

★…試験免除プログラム対象資格 ❖…事業所内受験対象資格



一般社団法人
社会福祉支援研究機構

<https://social-so.net/>

